

平成21年度 施策評価シート

平成21年8月3日記入

◆総合計画における位置付け等

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15210
政策名(章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当局	教育局
基本施策名(節名)	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	施策所管課	スポーツ課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の促進	課長名	西原 巧

※15220 スポーツ・レクリエーション施設の整備 と統合して評価

1 施策の目的

スポーツ・レクリエーション活動は、人々の健康の保持・増進、体力の向上、生きがいづくりなどの面で大きな役割を果たすとともに、人々との交流を深め連帯感を生みだし活力あるまちづくりの一助となる。このため、市民がいつでも、気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図るとともに、地域スポーツ・レクリエーション活動を促進し、相模原市スポーツ振興計画の目標に基づく成人スポーツ実施率50%以上を目指す。

2 施策の概要

- ・スポーツ振興事業(さがみはらスポーツフェスティバル、総合型地域スポーツクラブのPR事業、中学生スポーツセミナー)
- ・各種体育大会等実施事業(市民選手他10種目)
- ・(財)相模原体育協会補助事業

3 事業費

(単位:千円)

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	2,301,995	2,393,807	
人件費	42,657	42,796	
市民一人あたりの事業費(単位:円)	3,261	3,372	

* 年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

4 成果・活動指標

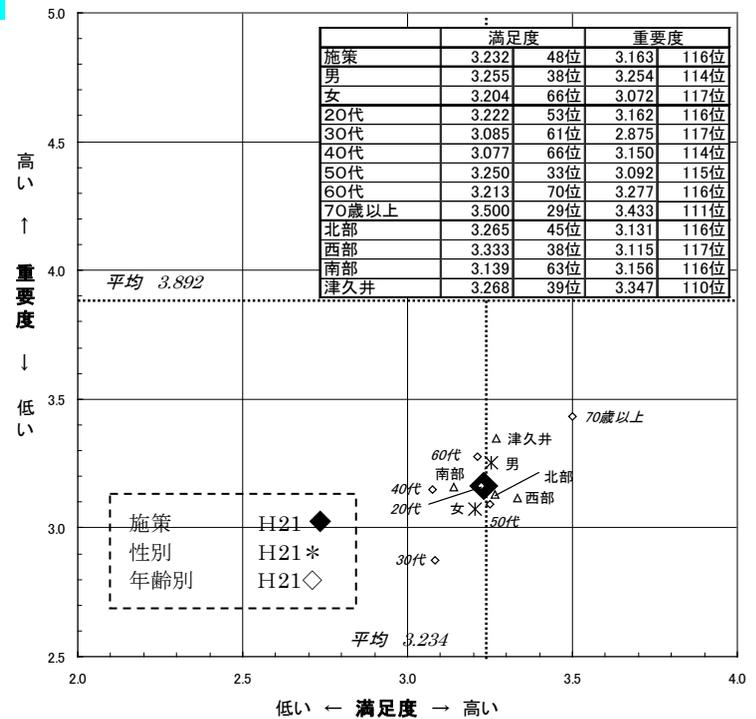
順位	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
1	指標1 成人のスポーツ実施率 現状/目標×100	週に1日以上、運動・スポーツを行った人の割合。 ※平成20年度以降は、ウォーキング等の軽運動も含めた調査としたため、目標数値がそれ以前とは差異がある。	相模原市スポーツ振興計画の基本目標に基づき、平成25年度までにスポーツ実施率を50%以上にする。
2	指標2 スポーツフェスティバル参加者数	体育の日に行うスポーツの象徴的的事业であるスポーツフェスティバルの参加者数。	平成25年にフィールド面積可能人数を見込み、5,000人の参加を目標とする。
3	指標3 総合型地域スポーツクラブの数	市内において公認されている総合型地域スポーツクラブの数	総合型地域スポーツクラブを公民館区に一つ(最終18クラブ)以上できることを目標に据え、年に1クラブが創設することを目標とする。
4	指標4 各種体育大会等参加者数	市が行った各種体育大会等の参加者数	平成25年に平成17年度実績の1割強の伸びを見込み、38,000人の参加を目標とする。
5	指標5 スポーツ・レクリエーション講習会への参加者数	ニュースポーツの中から特に親しみやすい種目を紹介し、スポーツをするきっかけとなることを目的として実施する事業への参加者数	平成25年度に、講習会の対応可能人数である150名の参加者最終目標とする

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:%)	H17	25.0	35.0	28.4	52.0	52.1	53.0		54.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		191,156 3.8	241,492	4.6	242,551	4.6				
指標2 (単位:人)	H18	1,500	2,000	2,100	2,200	2,000	2,400		2,600	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		8,743 0.5	8,492	0.5	8,719	0.5				
指標3 (単位:数)	H17	3	5	7	9	8	10		11	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		3,519 0.3	3,147	0.3	3,211	0.3				
指標4 (単位:人)	H17	34,152	38,000	36,535	38,000	35,972	38,000		38,000	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		58,517 0.5	70,313	0.5	76,403	0.5				
指標5 (単位:人)	H17	76	80	59	90	59	100		110	
総事業費・人員 (単位:千円・人)		4,969 0.3	16,964	0.7	15,874	0.7				

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.232で全119施策の中で48番目。
- 重要度は3.163で116番目である。
- 改善要望度は-0.514で117番目である。

スポーツ・レクリエーション活動の促進



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 ② 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 2 ①	
合計		7		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市民生活の中でスポーツとふれあう機会が、まだまだ少ないため、スポーツのもたらす効果等の認識が浸透していないことが課題として挙げられる。
解決策	スポーツフェスティバル、総合型地域スポーツクラブなどの各種スポーツイベントや相模原市体育協会の活動に参加する市民、年間5,000人以上にスポーツと触れあう機会を提供し、スポーツの持つ効果をPRしていくことにより、市民のスポーツ意識の高揚を図る。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

H20改善計画書による修正等がなされていない。早急に改善計画書に則った対応をすること。 ⇒H20改善計画書のうち 【改善項目①】 体育協会補助金に関する指標の設定については、内部検討を行ったものの、体育協会の行う事業などについての見直しの最中であり、明確な指標を設定することが困難であると判断した。 【改善項目②】 指標3の目標値設定については、本市スポーツ振興計画を踏まえた目標を設定した。指標1については、調査内容の変更に伴い、実績値がすでに目標値を上回っている状況であり、スポーツ振興計画を踏まえた上での新たな目標値設定が課題であると認識している。 【改善項目③】 課題に対する解決策について、より具体的なものとした。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

構成事務事業の優先順位付けを行い、事業の廃止、見直しを行うこと。	3次評価 B
----------------------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向